

VOICE

千代田区 自由民主党議員団 活動レポート

発行:千代田区議会 自由民主党議員団 〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1(千代田区役所7F) Tel.03-5211-4320 Fax.03-5275-6882

Head Line

- ▶千代田区議会報告
- ▶第3回 区議会定例会
- ▶各委員会報告
- ▶麹町保育園の整備について

各委員会報告

予算決算特別委員会を終えて

補正予算は「ポリオ(小児まひ)予防接種、不活化ポリオワクチンを導入するための経費の追加」「国史跡常盤橋門跡石垣・常盤橋を修復費用の追加」などを全会一致にて可決しました。

しかし「平成23年度各会計決算」は昨年に続き不認定(否決)となりました。昨年、千代田区政史上初めて決算を不認定としましたが、昨年に続き、2年連続で決算が不認定となったことは、極めて異常な事態であり、委員長としても大変残念であります。

委員長は公平な立場で議事を整理し、委員会運営を円滑に進める役割を担いますが、理事者(部課長)の答弁が質問者(議員)と噛み合わないなど区役所全体が疲弊しているように感じました。決算不認定の主な理由は、「工事請負契約の度重なる変更」「湯河原千代田荘のあり方検討が遅々として進まなかったこと」「昨年の決算不認定の理由となった課題の放置」等でありました。また、「麹町地域認可保育所整備」に関する「区長の突然の方針変更」など甚だしい議会軽視も見られました。一方、決算に賛成の立場の委員からは、法令違反あるいは会計処理のミスなど重大な瑕疵はなく認定すべきとの意見もありました。

結局、25名(全議員)の委員による採決委員長は採決に加わりません(の結果、17対7の圧

千代田区議会 大差で石川区政にNO!

2年連続で決算不認定

平成24年第三回定例会最終日、自民党他多数の議員によって「平成23年度各会計決算」は不認定となりました。前年度も本区議会では、決算不認定(区政史上初)となつていますが、2年連続決算を不認定せざるを得ない事態は極めて遺憾であり、石川雅巳区長はこの事実を受け止め真摯に反省するべきでしょう。決算不認定の主な理由は「工事契約変更による予算増額の度重なる専決処分」

「麹町地域認可保育所の予算が計画通りに執行されていない」「湯河原千代田荘の契約問題」「22年度決算不認定となった課題の放置」等、議会の指摘を無視し山積している問題に何ら対策を行わず区政の停滞を招いていることにあります。自民党議員団は執行機関に「説明のつかない予算執行を二度と行わないこと」「区民の信頼を回復し、明るい展望を持てる次年度予算編成を行うこと」を強く要請しました。



議員氏名	所属	賛成	反対	議員氏名	所属	賛成	反対
1 うさみ 正記	○			11 寺沢 文子	×		
2 林 剛行	○			12 小枝 すみ子	×		
3 河合 良郎	○			13 岩佐りょう子	○		
4 はやお 恭一	○			14 大串ひろやす	×		
5 高澤 秀行	○			15 山田ながひで	×		
6 安岡 けんじ	○			16 嶋崎 秀彦	×		
7 永田 壮一	×			17 松本 佳子	×		
8 内田 直之	×			18 桜井 ただし	×		
9 小林 やすお				19 飯島 和子	×		
10 小林 たかや	×			20 木村 正明	×		
				21 中村 つねお	×		
				22 高山 はじめ	×		
				23 戸張 幸次郎	×		
				24 島海 隆弘	×		
				25 石渡 伸幸	×		
				出席議員数		25	人
				投票総数		24	人
				賛成	○	7	人
				反対	×	17	人

※電子投票システム(議場採決板) 小林やすお議長は、採決に参加できません。

11月20日 自民党議員団は区民の安心・安全を守るための平成25年度予算要望を提出しました。

大切な子どもたちのために!!

石川区長は今定例会の中で麹町保育園の整備について区長自らが一貫して主張してきた考えを十分な議論もなく突然、変更し発表しました。区長の独断専行で行われた方針変更はこの地域の待機児童解消につながるばかりか、住民の声を無視した、断じて許されるものではありません。

こんな決め方で良いのでしょうか
《麹町保育園の整備について》

今定例会の中で明らかになったこと。石川区長への5つの疑問!

- 十分な庁内議論がなく独断的に決定がなされたこと。**
区長の麹町保育園整備の方針変更については区役所内で十分な議論がなされていないばかりか、保育行政の責任者である教育長、担当部長も区長が方針変更を発表した当日に知られるといった信じられない独断的なものでした。
- 教育委員会にも方針変更の相談、報告もなく決められました。**
今回の区長の方針変更は事前に教育委員会に相談、報告をされずに決められました。全く手順手続きを欠いた決定としか言わざるを得ません。
- 区長は『保育園の建設にあたっては、今が総合的に判断する時期にきている』と言われていますが、なぜ、今なのでしょか?**
区長は『おひさま広場周辺の方々との協議の状況を勘案して決めた』と言われていますが、まだ1回しか説明会を行ってならず、周辺地権者の意見もまともな報告されています。更に、今後は広い範囲の住民に対しても説明と意見を聞くことになっているにも関わらず、この時点で判断をすることは住民無視としか言いようがありません。地域の方からも、なぜ区長は声を聴いてくれないのか、私たちの意見も聞いてほしいとの強い要望が出されています。
- 議会軽視**
議会においても、まさに保育園整備の取りまとめを行っている最中で、区長の突然の方針変更は議会軽視に他ならず、許されるものではありません。
- この地域の待機児童解消が大きな目的であるのに、なぜ『100名規模、公設公営で解消』されるのでしょうか。**
区は待機児童の解消の為に、平成27年に200名規模の保育園を整備しないと待機児童の解消につながらないと言ってきました。それが区長の言われる100名規模の保育園整備で、どのように解決されるのでしょうか。区長の公約である待機児ゼロを自ら否定されるのでしょうか。

私たちはこの地域の保育園待機児童の解消と、これから生まれてくる子どもたちのことを第一に考え、保育園整備を行っていくことを強く求めます。

あなたの声をお聞かせください! ▶千代田区自由民主党議員団

●お電話で **03-5211-4320** ●FAXで **03-5275-6882**

〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1(千代田区役所7F)





代表質問



桜井ただし

平成23年度決算について

問 昨年、千代田区政初の決算不認定となった事を受け、これをどのように受け止め改善してきたのか。まさに区長の姿勢が問われている。特に旧鍊成中学校跡地のアートスクエアは区民とかけ離れた事業となっている。文化芸術施策をどのように評価し進めていくのか。

答 誠意をもって説明したが、理解いただけなかった。今後、説明責任を果たし努力していく。当初予算では決算不認定の項目はご意見を反映し落とすもの、直すものを入れている。アートスクエアは単に区民だけの話として文化振興をするのではない。文化芸術振興条例を作った背景を十分に理解賜りたい。

防災対策について

問 首都直下型地震と南海トラフの巨大地震に関する被害想定を踏まえ、今後どのような対策を講じていくのか。東日本大震災では国や都との連携や情報の伝達に課題を残したがその後の検討は。区内の緊急輸送道路沿道の建物に対する国、都はもとより区の取り組みはどうか。

答 平成23年度の地域防災計画改定で示した防災対策の方向性を基本とし、その検討の深度化と対策の具現化を図る。東京都の新たな震災被害想定に基づいて、計画、対策を再検証し、的確な減災対策を講じる。各防災関係機関における最新の計画や対策を反映させるとともに、防災対策における連携・協力をさらに強化する。災害時の情報伝達は、一から見直しを行い、デジタル式無線機の導入など新たな対策に取り組む。助成制度の検証も含め、今後も更なる耐震化の推進に向けて、国や東京都と連携を図りながら取り組んでいく。

生活環境条例について

問 路上喫煙の過料の目的とその使途はなにか。10年間の取り組みを踏まえたマナーへの移行のタイミングは。公園における喫煙状況についてどのように対応していくのか。

答 過料は実行性の確保と処分の即時性を目的とし一般財源として幅広く活用する。現時点ではマナーへの移行は大変難しい。公園における喫煙は出来るだけ早い段階で一つの方向を出していく。

高齢者の見守りについて

問 高齢者のみの世帯が増加している中、地域の自主的な見守り救援体制づくりにはどのような支援をしていくのか。マンション住民の見守り救援体制の考え方、区の取り組みについて。

答 高齢者の見守りは特に地域の中で自主的に助け合う、「地域福祉」的な取り組みが重要。区では高齢者安心生活見守り隊、配食サービス、緊急通報システム、ふれあい収集、はあとサロンなど、また、訪問事業としては、安否確認や高齢者サービスの紹介を行う高齢者見守り訪問や、本年実施した高齢者熱中症予防訪問など取り組みを行っている。マンション対策は個別に考え、区の総合的な取り組みの中で考えていく。

高齢者サポートセンターの進捗状況について

問 建物ハード面についての課題と今後の取り組みについて。医療と介護の連携のため「相談拠点」と「在宅ケア医療拠点」の検討状況と今後の見通しについてサポートセンターに関する区民周知や意見聴取をもっと積極的にすべきでは。

答 「親しみやすく、訪れやすい施設」とし各機能の配置等の検討と、医療をも含めた総合的な相談窓口の整備を目指す。一体的な窓口整備に加え24時間365日の相談体制の構築や、必要に応じて具体的なサービスに繋げるためのネットワークと仕組みづくりを検討する。広報等で周知してきたが、理解促進が不十分との認識。よりわかりやすい周知に努める。



▲ 政治の混乱に終止符を打ち 強い日本を取り戻す! 自民党NEWポスター

一般質問



松本佳子

(仮称) 麹町地域認可保育所の突然の計画変更について

問 9月27日の環境文教委員会でこのこれまでの答弁を覆す委員会軽視の区長答弁があった。①重要な行政計画の変更を突然答弁された事実を確認し、庁内調整の会議を、いつ何回したのか、区長に問う ②教育長が方針変更を知らされたのはいつか。どのような調整があったのか。委員会での執行機関答弁の「麹町保育園を一番町に移した場合、取り壊さなくてはならず、認可外保育園等に転用することはない」は事実か。教育長に伺う。

答 ①麹町保育園は公設公営、定員100名前後とする。仮園舎は必要と考え、当面、存続できるよう検討。教育長等と議論した上で判断した。

②9月27日当日に知った。区長から何度か相談があり、9月26日に関係部長が招集され、今後の対応等の意見を求められた。新たな保育園の建設後、仮園舎は原則除去。継続利用には特定行政庁の許可が必要。

町会長等の負担軽減に向けた取り組みについて

問 ①町会長の仕事や役割等についての認識は②書類配布の軽減等の方策は③各出張所と連携し、人手不足の町会を支援しては④町会活性化への考えは。

答 ①円滑な区政運営に欠かせない重要業務を担っていただいている。②③円滑な町会運営事務負担の軽減に向けて検討していく④多様な観点に立ち検討していく。

いじめに対する区の対応について

問 ①東京都の調査結果への対応、その後の発生状況は②大津市の事件を踏まえた認識、今後の取り組みは③教員研修についての考えは④家庭教育の支援に向けた取り組みは。

答 ①7月の調査では、9件を「いじめ」と認知。9月の1件を加えて3件の継続対応を除き解決に至っている②これまでの対策の充実等が求められていると認識。新たに「(仮称)スクールライフサポーター」の派遣等を実施する。③関係と連携し充実を図っていく④道徳授業地区公開講座等により充実させていく。

▼ ガンバレ!きみは日本人だ。心のかよう教育を。 自民党 昭和55年(1980)ポスター



一般質問



永田壮一

大規模災害対策と自衛隊との連携について

問 3・11の本区での自衛隊の活動はどのようなものだったのか。平素から自衛隊との協力関係を強化するためにも、防災・危機管理業務に退職自衛官の採用を求める。

答 発災後、自衛隊はすぐに本区庁舎に駆けつけ情報収集、国側からの情報提供を行った。自衛隊との関係強化、退職自衛官採用は臨機応変に対応し他自治体の事例等を研究して進めていく。

納骨堂について

問 納骨堂の設置については東京都からの権限移管によって区条例での独自の対応が必要になった。近隣の環境、住民との調整等地域性に合わせた条例策定を求める。

答 地域の環境に配慮した施設の構造設備基準と適切な管理運営を求める基準等を強化し、近隣住民の不利益とならないよう条例整備を検討する。